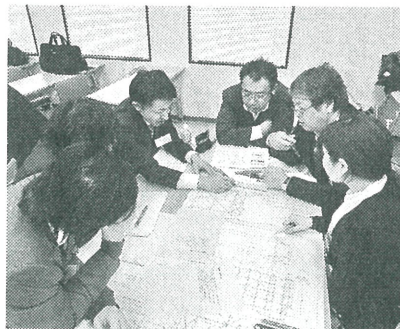


JSCA東北と全構協青年部会東北

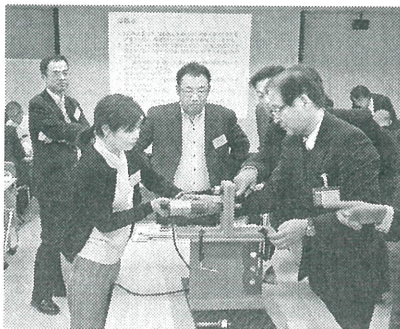
設計施工問題で意見交換会

良質な鉄骨造へ理解深める

日本建築構造技術者は『鉄骨詳細図を製作
協会東北支部（JSCA東北）と全構協工業協
会青年部会東北ブロッ
ク（佐藤文宣会長）は
このほど、共催で「鉄
骨建築物の設計施工問題
意見交換会」を仙台市
の戦災復興記念館で開
催。5回目となる今回
から21人、全構協青年
部会東北から26人が出
席。
冒頭、加藤支部長は
「今年で5回目を迎え
ることができ、両団体
の積極的な参加意欲と
この場を準備いただき
た関係者に感謝申し上
げる。課題を通じて出
された意見を吸収し、
今後に生かしてほし
い」と挨拶した。
佐藤会長は鉄骨ファ
ブリケーターの現況に
触れ「繁忙感が続く中、
足元は高力ボルト不足
やコラムの品薄感が顕
在化しているが、新商
品による省力化・工期
短縮は可能だ。忙しい
状況はそう長くは続か
ないで、鉄骨造で



双方のノウハウを生かし最良の提案を検討する参加者①と
シャーレンチでのボルト締め体験



このほか、意見交換
を利用し、フルサト工
業が新技術紹介として
ロブテックスファスニ
ングシステムの片側施
工用高力ボルト「ハッ
ク高力ワンサイドボル
ト」を説明。ボルト締
めのデモンストレーシ
ョンも行われ、出席者
は模型を使いシャーレ
ンチでの締め作業を体
験した。

きるものは設計変更な
しで対応していただき
たい。鉄骨需要はまだ
また続くと思うので、
引き続き協力していこ
う」と述べた。

この後、提案検討に
移り、八つの混成チー
ムに分かれて課題に取
り組み、その後、成果
発表を通じて活発に意
見交換した。

このほか、意見交換
を利用し、フルサト工
業が新技術紹介として
ロブテックスファスニ
ングシステムの片側施
工用高力ボルト「ハッ
ク高力ワンサイドボル
ト」を説明。ボルト締
めのデモンストレーシ
ョンも行われ、出席者
は模型を使いシャーレ
ンチでの締め作業を体
験した。